



# エレベーターのパラドックス

ユーチューブに立憲の枝野氏の内閣不信任案の提案演説がある。それを見ると、彼は「いくら多数でも決めるにはならないことがある。それをエレベーターのパラドックスと云う。安倍内閣はそれをやった」と演説。エレベーターのパラドックスとは・・・マンションの管理組合の会議で、エレベーターを新設することになり、費用負担を一階の住民だけに押しつける決議案が出された。二階以上の住民が結束すれば多数となるが、これは決めてはならない。

の自民党議員の一人は比例に回る。しかし、参院比例区では候補者の獲得票の順位で当選順が決まる。だから比例区に回ったら、当選できない。そこで自民党は「拘束名簿を導入。比例区に回った候補の名簿順位を一、二位とし、比例区の定数を増やし、当選を保証」というのが今回の参議院の選挙法の改正。

要するに小選挙区から比例区に回った自民党の候補が当選できるように選挙法を変えたのだ。多数決で決めて良いことでしょうか。

参院の選挙法改正では  
多数党の都合にあわせ

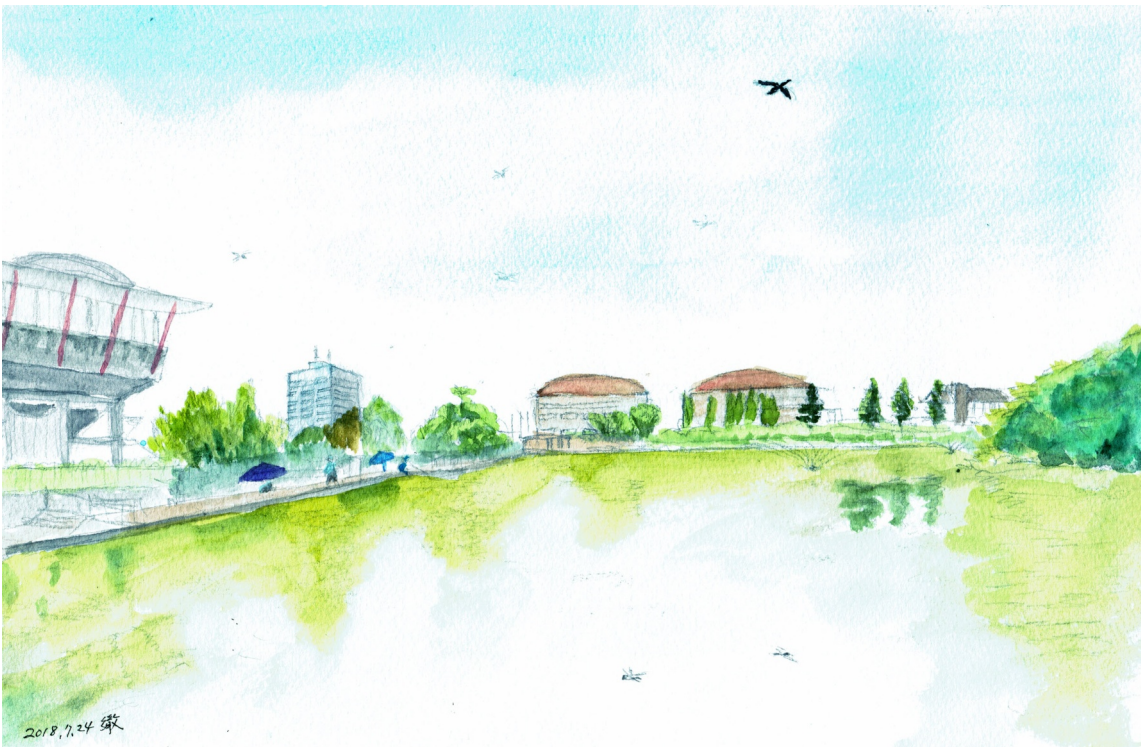
従来、鳥取、島根、徳島、高知は定数一で自民が獲得。しかし、参議院の一票の格差は正で、二〇一六年の選挙から鳥取島根、徳島高知は合区。それまで

こういう事がまかり通ると、事実上自民党しか立候補できないように選挙法を変えることも可能になる。あなたはどう思われますか？

## 等々力緑地釣り池

神奈川県川崎市中原区

二〇一八年七月



「等々力」という町名は東京都世田谷区と川崎の双方にある。昔、多摩川は蛇行。川崎の等々力の南側を流れていた。十八世紀初頭、川を真っ直ぐに改修。等々力村は多摩川によって分断されて、両岸に等々力が残った。

大正末期、砂利採取で七つの池が出来た。他の池は埋め立てられ、緑地公園となった。

右奥は市民ミュージアム。九月九日まで「かこさとしの秘密展」が開かれている。かつて加古里子さんは川崎セツルメントで活動。

釣り池には鮒や鯉が沢山いる。一時はアオコが多かったが、対策が取られて今は水質も良くなったそうだ。池の上をトンボが舞い、鵜が魚を捕っていた。酷暑の中、傘で太陽を防ぎながら、釣りをしている人が見える。

